



矢幅駅西口にあるケアセンター南昌の1階



矢巾町地域包括支援センター

所長 ^{えん どう あき よし} 遠藤 聖義 さん (盛岡市)

未来のために今できること 高齢者も若者も安心して暮らせる町へ

私は、矢巾町地域包括支援センターに勤務しています。場所は矢幅駅西口の前にある「ケアセンター南昌」の1階です。

令和6年度、矢巾町の高齢化率は29・2%です。県内で3番目に高齢化率が低い町です。県全体としては35・6%です。2040年には高齢化率35・9%になる予想です。

それに伴い認知症高齢者、独居・老々介護世帯の増加、医療・介護職員の人材不足が課題となっています。この課題に対して地域の協力体制が必要になっています。

できる範囲で無理せず、「お互い様の気持ちをもって」協力できると良いと思います。例えばあいさつ、声かけを大切にしながら、高齢者世帯のポストに郵便物が溜まっているか、家の明かりは定期的に点いているか等、生活している状況を見守ることができ

れば良いと思います。そうすることで自分が困った時に助けてもらえることも増えると思います。

日常の見守りの中で、いつもと様子が違うことがあった時は、矢巾町役場健康長寿課や包括支援センターが相談窓口になるということを知っていただければと思います。多様化する生活課題に対し住民が互いに助け合うことで安心、安全な日常を送ることができると思います。

包括支援センターは高齢者の総合相談窓口になっています。健康を維持して自宅で生活を続けたい、歩くのが億劫になってきた、介護サービスを利用して生活の質を保ちたい等、気になることがある時はお問い合わせください。「地域のよろず相談所」として高齢者のご相談について関係機関と協力して一緒に考えていきたいと思っています。

表紙に寄せて

令和7年6月21日に矢巾町と友好都市を締結しているアメリカ・フリモント町から12名が来町。矢幅駅でセレモニーが開催されました。



あしがき

広報編集委員の構成が変わり、初めて編集を担当しました。一般質問の原稿の内容は一部であり、是非動面をご覧ください。是非動面をより理解できると思います。

編集にあたっては、皆様のご意見を反映し、より良い紙面づくりに努めて参ります。

発行・編集責任者

議長 廣田 清実

編集委員

委員長 藤原 信悦

副委員長 山本 好章

委員 横澤 駿一

委員 齊藤 勝浩

木村 豊



古紙配合の再生紙と植物油インキを使用しています